SessionViewer

取扱説明書

バージョン１

1　はじめに

SessionViewer は、BLS 結果ファイルを閲覧し、編集するための単独型アプリケーションです。トレーニングセッションの後、学生とのディブリーフィング時に役立ちます。

2　注意と警告

- 本製品を使用することで政府、州、地方自治体の法律に反する場合や個人の権利を侵害する場合、Laerdal® Medical は本システムの使用を許可しません。
- 本システムの使用や不具合による資産の損失や盗難については、Laerdal® Medical は一切の責任を負いません。
- Laerdal® SessionViewer および関連機器を操作する前に、取り扱い説明書、安全性に関する警告、ガイドラインをすべてよくお読みになり、記載事項に従ってください。

3　SessionViewer ソフトウェアのインストール

SessionViewer の PC 要件：

ハードウェア

必要：
CPU：2.2 GHz デュアルコア
RAM：2 GB
HD：500 MB の空き容量

推奨：
CPU：2.2 GHz デュアルコア以上
GPU：NVIDIA GeForce 500 シリーズ以上（CUDA 4.0+対応の NVIDIA カードであること）
RAM：3 GB
ハードディスク：500 MB の空き容量

ソフトウェア

必要：
OS：Windows XP（完全に更新済み、Internet Explorer 8 がインストールされていること）
注： Windows XP ではライセンス追加と録画・録音を行えません。

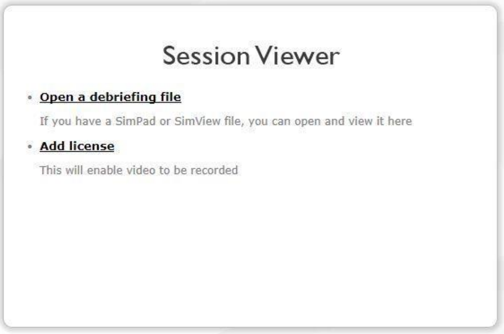
推奨：
OS：Windows 7 以上（完全に更新済み、Internet Explorer 9 以上がインストールされていること）

SessionViewer ソフトウェアは www.laerdal.com からダウンロードできます。SessionViewer ソフトウェアをダウンロードし、所定の指示に従ってインストールしてください。

3.　SessionViewer の起動

PC のデスクトップ上に SessionViewer アイコンがあります。

このアイコンをダブルクリックすると SessionViewer が起動します。
SessionViewer の最初の画面が表示されます。



4　SessionViewer の機能

SessionViewer を使用するには、起動画面でいずれかの操作を選択する必要があります。Windows XP を使用している場合は、選択肢として「Open a debriefing file（ディブリーフィングファイルを開く）」しか表示されません。

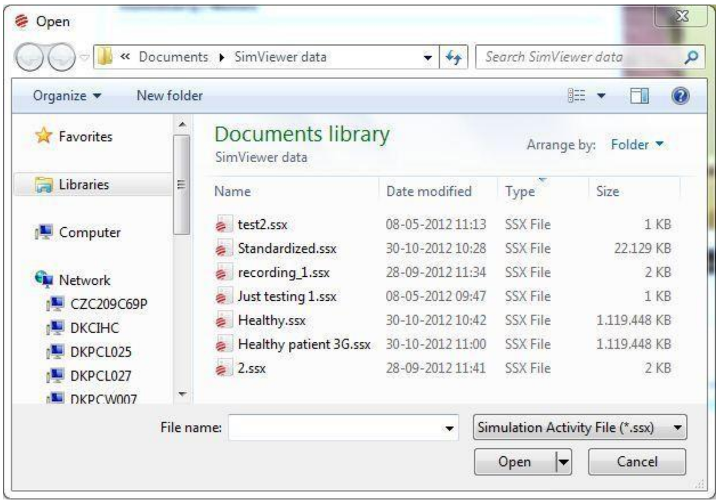
4.1　ディブリーフィングファイルを開く

SessionViewer を起動するには、次の 2 つの方法があります。

- Windows エクスプローラで該当するファイル（.ssx）をダブルクリックします。
- デスクトップ上にある SessionViewer アイコンをダブルクリックします。

アプリケーションアイコンをダブルクリックして SessionViewer を起動すると、実行できる操作として「Open a debriefing file（ディブリーフィングファイルを開く）」が表示されます。

「Open a debriefing file（ディブリーフィングファイルを開く）」をクリックすると、Windows 標準の「Open file（ファイルを開く）」ウィンドウが表示されます（SimPad ファイルの使用方法は次章を参照してください）。

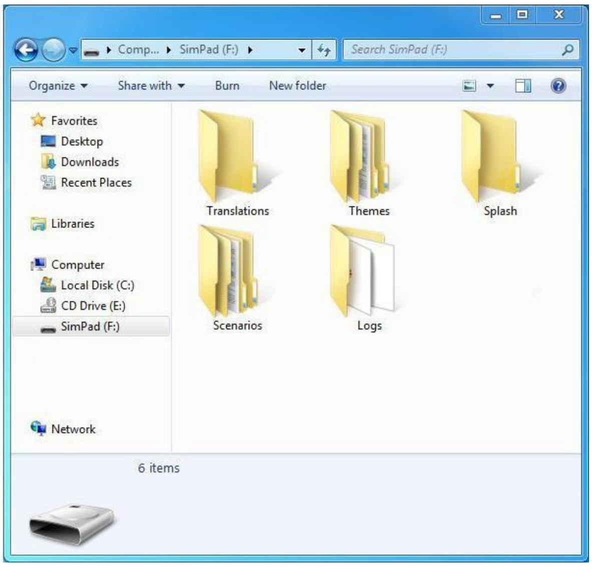


閲覧するファイルを選択し、ダブルクリックして開きます。
シミュレーションファイル（.ssx）をダブルクリックして SessionViewer を起動した場合は、そのシミュレーションファイルが直接表示されます。

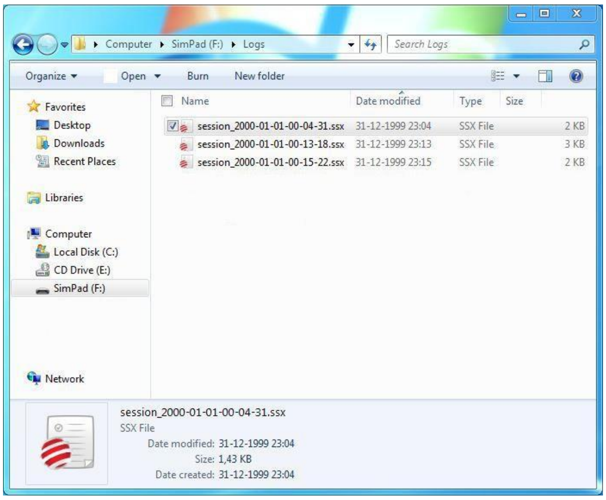
4.2　SessionViewer で SimPad を使用

PC に SimPad を接続すれば、SimPad に保存されているシミュレーションログファイルを SessionViewer に読み込み、シミュレーションアクティビティを表示できます。SessionViewer の機能は、他の.ssx ファイルを使用する場合と同じです。SimView からエクスポートした.ssx ファイルと、SimPad から読み込んだログファイルに違いはありません。

SimPad を PC に接続し、「Open folder to view files（フォルダーを開いてファイルを表示する）」を選択します。



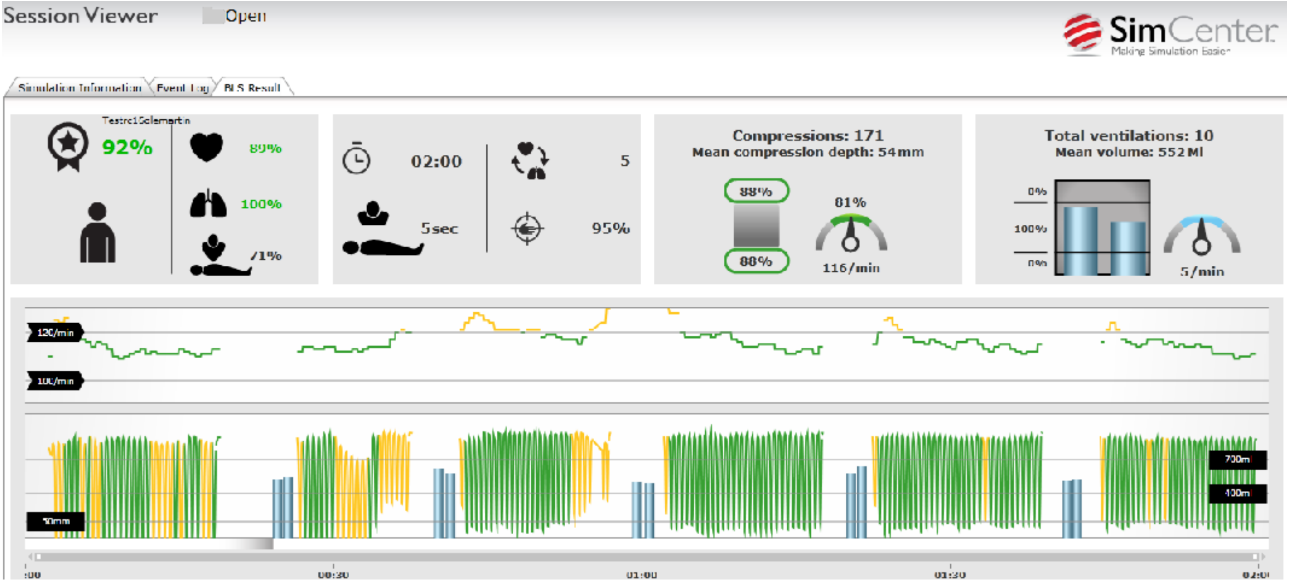
「Logs（ログ）」フォルダーを開きます。



閲覧するファイルを選択して、ダブルクリックします。選択したファイルの内容が SessionViewer に表示されます。ファイルを編集した場合は、編集後のファイルを新しいファイルとして保存するか、元のファイルに上書き保存するかを選択できます。

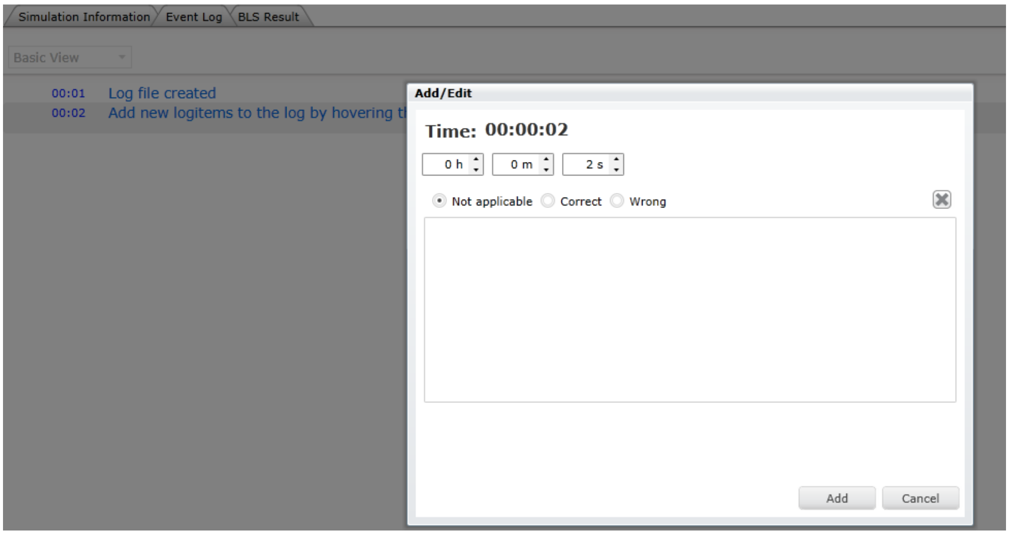
4.3　SessionViewer で BLS 結果データを参照

SessionViewer では、SimPad で収集した BLS 結果データを検証できます。通常の SimPad ファイルと同じ方法でファイルを開きます（前章を参照）。



4.4　開いたファイルを表示する

.ssx ファイルを開くと、記録データを表示してディブリーフィングを実行し、「Event log（イベントログ）」を編集できるようになります。

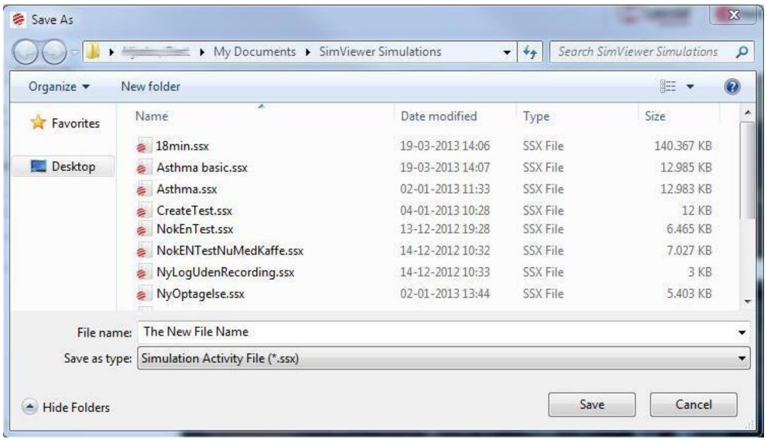
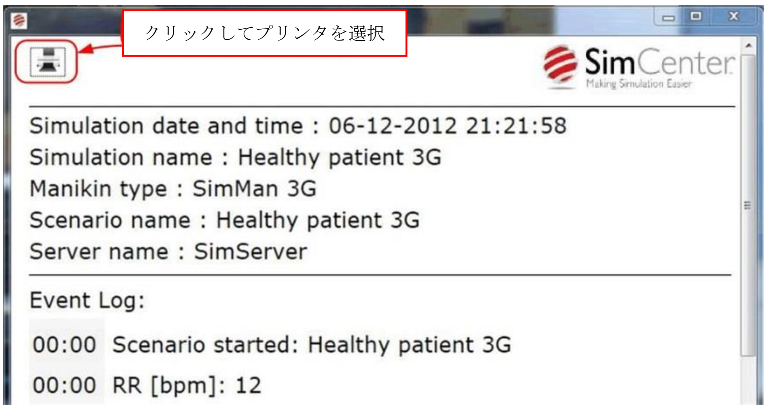


タイムラインを使ってファイル内を前後にスキップしたり、イベントログの特定のイベントをクリックして移動したりできます。イベントログを検索し、見つかったイベントをクリックすると、目的の箇所を直接表示できます。

4.4.1　ディブリーフィングファイルの保存と印刷

開いたディブリーフィングファイルにコメントなどを追加した後で「Save（保存）」を押すと、元のファイルがそのまま上書きされます（新しいファイル名を入力するダイアログは表示されません）。元のファイルと変更後のファイル（コメントなどを追加したファイル）を両方とも残しておきたい場合は、「Save as（名前を付けて保存）」ボタンを選択してください。その後、保存先フォルダーと新しいファイル名を指定します。

図 9　「Save（保存）」、「Save as（名前を付けて保存）」、「Print（印刷）」、「Delete（削除）」のボタン



「Event log（イベントログ）」を印刷するには「Print（印刷）」ボタンを選択します。